

金賞

手わのボランティア

鹿児島市立吉野東小学校

一年 田原 ななか

手わつうやくのボランティアをしてみたい
です。

わたしは、みみがきこえないけど、人こう
ないじというきかいをつけて、こえをきくこ
ともできます。

わたしがきいたことを、わたしとおなじき
こえない人につたえます。

金賞

助けてもらつた妹の命

鹿児島市立武小学校

四年 宮原 蒼士

妹が三才の時、病氣で死にかけたことがあります。

でも、献血してくれた人の血液から作つた薬で治りました。妹の命を救つてくれた人は心から感謝しています。

ぼくも大人になつたら、献血して誰かの命を救いたいです。

金賞

個性がかがやく時代

霧島市立名山小学校

六年 橋口 舞

みんなと同じだとほっとする自分がいる。

でも、人とちがう自分を認めてほしい時も

ある。情報があふれ、たくさんの生き方を選

べる今の時代。

人と比べない自分らしい私で居られる様、

みんなの個性がかがやくといい。

金賞

私にできるボランティア

鹿児島市立喜入中学校

一年 東郷 茜

今年の夏、電車から降りると、おばあさんがゆっくりと荷物を降ろしていた。

重たそうにしているおばあちゃんに「持ちましようか。」と声をかけ、ゆっくりと私は階段を下りた。

今でもおばあちゃんの笑顔は心の中に入っている。

金賞

私の父

神村学園高等部

三年 藤 鼓美

私の家庭は父子家庭。

片親で辛い時もあった。でも、父から沢山の愛情をもらっている。

父親ながら母親がする仕事をこなす父は自慢の父親であり、尊敬している。

そんな父に普段伝えられない「ありがとう」と伝えたい。